

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（6月末現在）

令和5年(2023年)9月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

2 調査対象校 《計1,541校》

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校

- ・小学校761校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校469校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校245校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く）
- ・特別支援学校66校

3 調査対象期間

令和5年（2023年）4月～令和5年（2023年）6月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況				5. いじめの認知件数がない学校数
		2. 解消件数	3. 解消に向けて取組中の件数		4. その他	
令和5年度 第1回 (4月～6月)	15,412	0 (0.0%)	15,370 (99.7%)	38 (0.2%)	4 (0.03%)	438 (28.4%)
小学校	12,647	0 (0.0%)	12,631 (99.9%)	16 (0.1%)	0 (0.00%)	148 (19.4%)
中学校	2,336	0 (0.0%)	2,324 (99.5%)	10 (0.4%)	2 (0.1%)	117 (24.9%)
高等学校	364	0 (0.0%)	352 (96.7%)	10 (2.7%)	2 (0.5%)	121 (49.4%)
特別支援	65	0 (0.0%)	63 (96.9%)	2 (3.1%)	0 (0.0%)	52 (78.8%)

※（ ）は、認知したいじめの件数及び学校数に対する割合